

[02_1] 統計数理研究表紙会報等

<https://hdl.handle.net/2324/12834>

出版情報：統計数理研究. 2 (1), 1948-05-10. 統計科学研究会
バージョン：
権利関係：

會 報

編集會議記錄

編集準備會議

日時 昭和 22 年 10 月 18 日 (土) 1400—1600
 場所 東京都千代田區神田神保町 學術圖書出版社應
 接室

出席者

河田 龍夫君 増山元三郎君 佐藤良一郎君
 菱沼 從尹君 坂元 平八君 魚返 正君
 白石 一誠君 遠藤 健兒君 小川潤次郎君
 河田 敬義君

議 事

1. 統計数理研究再刊の構想について
白石一誠君より構想案の説明あり全員了解
2. 次回總會開催迄の臨時編集部役員設置の件協議
3. 投稿規定案検討

第一回編集會議

日時 昭和 22 年 10 月 28 日 (火) 1000—1400
 場所 東京都文京區高田若松町 統計数理研究所

出席者

北川 敏男君 河田 龍夫君 増山元三郎君
 佐藤良一郎君 丸山優四郎君 魚返 正君
 小川潤次郎君 河田 敬義君 白石 一誠君
 遠藤 健兒君

議 事

1. 投稿規定の審議決定
その内容は本誌に掲載してある通り
2. 第二巻第一號原稿募集の件
メ切を 12 月 15 日として計畫に基き募集を開始する
3. 統計数理研究再刊準備委員會結成の件
委員長 北川敏男君
委員 佐藤良一郎君 河田龍夫君 増山元三郎君
丸山優四郎君 河田敬義君 魚返正君 坂元平八君
小川潤次郎君 白石一誠君
事務室 (長)白石一誠君 遠藤健兒君

以上の構成を以つて發足することに決定
 臨時編集部役員代行の件
 次回總會迄その職務を行う役員を次の通りに決定
 編集理事 北川敏男君 増山元三郎君 河田龍夫君
 その他は北川委員長に一任。総レフエリシステムを採用する。
 編集部事務委員 (事務長)白石一誠君 小川潤次郎君
 遠藤健兒君 内田良男君

第二回編集會議

日時 昭和 22 年 12 月 20 日 (土) 1500—1730
 場所 東京都文京區高田老松町 統計数理研究所

出席者

理事 北川敏男君 増山元三郎君 河田龍夫君
 委員(編集事務) 白石一誠君 小川潤次郎君 遠藤健兒君
 内田良男君

議 事

1. 第二巻第一號に掲載する原稿の選擇審議並びにレフエリ-依頼の件等決定
2. 明年四月開催の總會の件協議決定
白石事務長提出の原案承認。後文の案内を参照せられたい。
3. 第二號の構想並びに原稿依頼の件協議
- 會報記事終了 -

(備考) 會議出席者氏名の順序は不齊

統計科學研究會第三回總會案内

日時 昭和 23 年 5 月 27 日 (木) 1000—1500
 同 28 日 (金) 900—1500

場所 東京大學理學部二號館大講堂 (豫定)

日程 { 午前 研究發表並びに討論
 午後 總會 (役員改選, 新入會員承認, 事業計畫承認等)
 夕刻より 懇親會 (會場は統計数理研究所の豫定)

5 月 28 日 午前, 午後 研究發表並びに討論

備 考

1. 研究発表は代読を認めますから、出席出来ない方は原稿を御送附下されば役員の方で御取計致します。
2. 役員改選については郵送投票が認められています。
3. 研究発表希望者は 5 月 17 日迄に到着する様下記へ御申込下さい。

東京都世田谷区三軒茶屋町 10 番地

統計数理研究所内

統計科学研究會總會準備委員宛

4. 總會プログラム並びに會員名簿は當日会場受附にて差上げます。
5. 懇親會出席希望者は 5 月 25 日迄に前記準備委員宛御申込下さい。

投 稿 規 定

1. 投稿者は會員に限り且つ原稿は邦文を原則とする。邦文原稿には 400 字詰原稿用紙を使用する。但し原著の性質を帯びた論文には欧文抄録原稿を附加しその頁数は刷り上げ 1 頁以内とする。欧文原稿には市販のタイプ用紙を用いタイプ打とすること。
2. 原稿の種類は論述、寄書、批評紹介、報告の 4 種類とする。
3. 論述は 1 回 40 枚以内、寄書は 1 件 10 枚以内、その他は 1 件 5 枚以内とする。
4. 論述、寄書並びに原著の性質をおびた報文の抜刷は 30 部迄無料とする。その他は豫め申込のある場合に限つて印刷する。無料印刷超過の分の印刷費は著者の負擔とする。
5. 挿圖は所要印刷面の割合で原稿頁數に加算する。圖の大きさ及び位置は著者に於て指定すること。
6. 印刷の校正は編集部役員に一任すること。
7. 原稿の採否は編集部理事に一任すること。又内容の変更を求めることがある。採用原稿には原稿料を呈する。
8. 発行は毎偶數月とする。
9. 原稿の送附先は「東京都世田谷区三軒茶屋町 10『統計数理研究』編集部」とする。
10. 寄稿についての注意事項。

(1) 表題體裁

- 1) 表題、著者名、研究場所、講演場所日附及び論文受理日附の書方は次の例に依る。但し受理日附は記入しないこと。又講演をしていないときは空けておくこと。

小 標 本 の 理 論
正規分布に関する統計的假設檢定法 I

北 川 敏 男

九州大學理學部數學教室

(昭和 20 年 10 月 30 日 統計研年會講演)
(昭和 21 年 11 月 11 日 受 理)

- 2) 表題が 18 字以上に互るときはヘッディングを指定すること。
- 3) 原稿には各葉に頁數を附し、原稿の副本を著者の手もとに保存すること。

(2) 本 文

- 1) 文章は意味の明確さを失わない限度で極力簡潔にし充分推蔽の上邦文は楷書とし欧文はタイプ打とすること。
- 2) 邦文は平かなまじり横書とし新かなづかいを用い、術語は本會所定のもの(未定のときは原語)を使用すること。タイプライティングは 1 行づつ間隔をあげ横は約 65 字とする。
- 3) 文中ゴチックを要する個所には \equiv (朱書) イタリックを要する個所には \sim (朱書) ゴチックイタ

リットクを要する個所には $\underline{\quad}$ (朱書) を附ける。数式及び記號中特に立體とすべき文字は \square (朱書) で囲むこと。ラテン文字以外を特に使用する場合は指定 (朱書) すること。なお印刷すべき本文以外の指定や注意書はすべて朱書すること。

4) 次の誤り易い文字に特に注意すること (特に添字は分り易く)。

$a-a$, $c-c$, $k-k-K$, $l-l$, $n-n$, $o-o-O$, $r-r$, $s-S$, $t-t$, $v-v-V$, $w-w-W$,
 $x-x-X$, $y-y$.

タイプ打のときは 0 と 1 とは夫々その使い分けを指定すること。

5) 数式は印刷に便利であるように注意し文中に挿入するときは a/b , $\exp(-t^2/2)$ と云うようにし $-t^2/2\sigma$ は $(-t^2/2)\sigma^2$ と $-t^2/(2\sigma^2)$ とを區別すること。

(3) 圖 版

1) 圖は墨で明瞭にかき、直ちに凸版に出来るようにすること。製版の上は修正不能。

2) 圖の挿入個所は原稿中に餘白をとつて明瞭に指定し、説明等圖外に印刷するものは上記餘白に本文と同様に明記すること。

3) 圖、表にはそれぞれ算用数字で通し番號をつけ引用は番號を以てすること。圖の番號は圖の下、表の番號は表の上に記入すること (例えば第 2 圖, 第 3 表の要領)。

(4) 脚註, 引用

1) 引用は一論文につき通し番號 (1), 2)…… を用いる) とし論文の末尾に一括すること。

文献の書方は次の例による。

北川敏男: 適合度検査と χ^2 -分布, 統計数理研究, 第 1 巻第 2 號 (昭和 17 年); 33-77

J. Neyman: Outline of a theory of estimation, Phil. Trans. Royal Soc., A 236 (1937), 333-380

伊藤清: 確率論の基礎, 岩波書店, 東京, 昭和 19 年

L. von Bortkiewicz: Die Iterationen, Julius Springer, Berlin, 1917

2) 特に脚註の必要ある場合には本文の下に横線を引きその下に記入する。記號は 1), 2)…… を使用すること。

入 會 案 内

本會へ入會を希望される方はその旨編集部事務室 (宛先は下記) に御一報下されば直ちに入會申込書を送附致しますから所定の事項を記入の上御返送下さい。入會の御取計を致します。入會金及び會費等は入會決定後御拂込下さい。

會費を納入された會員には本誌を直接御送附致します。その他種々の御通知御連絡も編集部事務室から致す豫定です。

宛 先……………東京都世田谷區三軒茶屋町 10

統計数理研究所内「統計数理研究」編集部事務室